

要領様式第2号

出張報告届

令和元年11月20日

吹田市議会議長様

会派名 無所属クラブ

出張者氏名 生野秀昭

印

印

印

印

印

印

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	11/7、8 研修 霧島市立国分体育館 11/8 視察 みやまコンセール、霧島アートの森		
期間	令和元年11月 ⁶ 7日から 11月8日まで ³ 2日間		
出張の成果	別紙のとおり		
備考	開始時刻に到着が困難なため前泊	認	会派代表者
		印	

吹田市議会事務局
1.11.20
受付

第81回 全国都市問題会議 報告書

無所属クラブ 生野秀昭

日時 令和元年11月7日(木)～8日(金)

会場 鹿児島県霧島市 国分体育館

テーマ 防災とコミュニティ

第1日 基調講演 講師 原口 泉 志学館大学 人間関係学部教授

議題「鹿児島の歴史から学ぶ防災の知恵」

自然災害(日照り・長雨・地震・火山灰)の多い鹿児島では、自然災害を当たり前として、地域で機能するコミュニティ社会が築かれて来た内容

主報告 講師 中重真一 霧島市長

議題「霧島市の防災の取組」

新燃岳の噴火と大雨・豪雨災害の歴史から、近隣自治体間連携と、霧島市の自助(防災グッズ)「(自主防災組織)公助(防災豪・ガス測定器・防災無線)」についての説明。

一般報告① 講師 田中重好 尚綱学院大学 人文社会学群長

議題「災害とコミュニティ」地域から地域防災力強化への答えを出すために。

地方自治は実験の場である。地方自治体に於いて一番大切な事は「住民の命を守る」事であり、全ての施策立案する際に防災上、副次的に何かの役に成るかを考慮する。

一般報告② 講師 松井一實 広島市長

議題「平成30年7月豪雨災害に於ける広島市の対応と取組」

(対応) 環境整備として避難所のダンボールベッド・間仕切り、大型エアコン、簡易シャワー、仮設トイレ・・・等々。被災証明や見舞金・支援金の支給にワンストップ窓口の開設。

(取組) 普段から広島市独自の支援策の形成。医師会との災害時協定。子供に対する防災教育として、炊き出しや仮設ドラム缶風呂の体験を普段から行う。

一般報告③ 講師 中田節也 防災科学技術研究所 火山研究推進センター長

議題「火山災害と防災」

行政に於ける縦割の弊害について

周期的であるが、我が国には大規模・中規模噴火が無い

子どもに対する防災教育の大切さについて

2日目

パネルディスカッション

テーマ「防災とコミュニティー」

コーディネーター 田中正人 追手門学院大学 地域創設学部教授

パネリスト 大矢根淳 専修大学 人間科学部教授

〃 磯打千雅子 香川大学地域強靱化研究センター 特命准教授

〃 持留憲治 霧島市 国分野口地区 自治公民館長

パネリスト 豊岡武士 静岡県 三島市長

〃 神出政巳 和歌山県 海南市長

平成を振り返る論調の中で、「平成は大災害の時代」とも言われるとおり、近年、全国各地で多種多様な災害が発生しており、行政に於いて、防災施設の整備をはじめ、防災的観点による都市計画や自治体間連携による災害対応など、これまで災害による様々な施策が講じられて来た。

しかし一方、大規模な災害が多発する中で、行政主体の「公助」による災害対応の限界が認識される様になり、災害は、自然現象だけでなく、社会が便利かつ複雑化した事により、核家族化や縦割り行政により、地域間で、地域と行政の間で、また行政間でのコミュニティーの希薄化から、住民一人ひとりによる「自助」とともに、地域、企業、学校、ボランティア等が互いに助け合う「共助」が重要視されるようになった今日、パネラーにより、其々の立場・地域での状況、報告、提案がなされた。

行政視察

コース「みやまコンセール」、「霧島アートの森」

みやまコンセールは、「霧島国際芸術の森」構想の中核施設として建設され、世界各地で活躍する旧知の名手たちが、年に一度霧島に集い、音楽の祭典「霧島国際音楽祭」が開催される。

霧島アートの森は、霧島の自然の中に芸術性高い国内外の作品 23 点が展示された野外美術館であり、地方でありながら国際的に評価の高い文化施設を視察した。

総 評

吹田市は、鹿児島のような火山や歴史的・地域的な災害の少ない地域であるが、吹田でも予測される地震や大雨の災害に対し、住民の命を守ることが行政の使命である事変わらない。

この会議で課題となった地域コミュニティーの希薄化については、吹田市が都市部で更に希薄なだけに、また「安心・安全の都市づくり」宣言都市として、今回の会議での、全国の施策や実例また貴重な意見や提案を学ばされており、今後これらを参考に十分活かしていかなければならない。

また視察の感想としては、万博公園・陸上競技場・サッカースタジアムを備え、今後 1 万人以上のアリーナ施設建設も予定される吹田市に於いて、都市部の量的な施設建設や運営また活動を進めるに当たり、質的な建設を求め考えさせられる一面が覗かされた。

この様に貴重な会議研修には、議員の資質向上の為に、今後も是非参加したいと思った。